

## 「2020トレーニングマッチ（北区・荒川区・豊島区）における注意事項」

開催日 令和2年8月23日（日）開場9：00～15：00（終了予定）

会場 北区立赤羽スポーツン森公園競技場

主催者 （一社）東京都北区サッカー協会少年少女委員会（男子トレーニングセンター）

### 新型コロナウイルス感染防止対策用

＜参考＞JFA ガイドラインから抜粋。競技会、公式試合運営での注意点

### チェックポイント

試合前、試合後に相手チーム、審判団との握手は実施しない。

両チームベンチへの挨拶を実施しない。

エスコートキッズは実施しない。

円陣はしない。

倒れた選手に手を貸さない。

得点時にハイタッチ、抱擁を行わない。

ピッチ内でも咳エチケットを守り、つばを吐く、手鼻をかむなどの行為を行わない。

口に含んだ水を吐かない。

ボトルを共有しない。

水・氷を溜めたクーラーボックスを共有しない。

タオルを共有しない。

ピッチ上でチームメイト、審判員と会話する際にも互いの距離についてしっかりと配慮する。

ベンチではマスクを着用し、会話を控える。

### チームベンチ

① 1席空けて座る。

② 入り切らない場合は、ベンチを増やして対応する。

または、主審および両チームで事前に合意した場所で待機を設定する。

② 一日複数の試合が行われる場合は、入れ替え時に消毒液でベンチシートなどを拭き取る。

③ ベンチの選手及びチーム役員は、マスクを着用する。

但し、テクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してよい。

競技中については、プレー及びアップ時以外はマスク着用とする。

④ 不要な会話・接触は控える。

- ・ 「新しい生活様式」における熱中症予防行動のポイント（厚生労働省2020年5月29日）。
- ・ 高温や多湿といった環境下でのマスク着用は、熱中症のリスクが高くなるおそれがあるので、屋外で人と十分な距離（少なくとも2m以上）が確保できる場合には、マスクを外してよい。

⑤ ベンチの選手及びチームスタッフはマスクを着用する。

- ・ チーム役員が、テクニカルエリアで指示を送る際は、マスクを外してよい。

## 試合中の飲水

- ① 原則飲水ボトルの共用を避ける。
  - ・ たとえ口が直接触れなくても唾液が飛ぶ可能性があり、感染の危険性はある。
  - ・ ペットボトルでのピッチレベル設置使用可（但し、スクイズボトルタイプのキャップに交換する）但し、使用したペットボトルは必ず破棄すること。
- ② 氷水にスポンジを入れて体を冷やすことは、体を冷やすだけであれば容認される。但し、スポンジで顔を拭うことは行わない。
- ③ 選手が口を付けフタをしたボトル等をクーラーボックスに戻すことは、絶対に避ける。

## 飲水タイム

- ① 飲水ボトルの共用を避けることから、十分な水分補給の機会が見込めないため、WBGTの数値に関係なく飲水タイムを設定し、パフォーマンス向上につなげる。
- ② 「熱中症対策ガイドライン」に基づき、WBGTの数値が条件に達した場合は、Cooling Breakを実施する。

## ゴールセレブレーション

- ① 社会的な距離（できるだけ2m、最低1m）を保って実施する。

## ハーフタイム

- ① 選手、チームスタッフ、審判員等の引き上げ動線が混雑しないよう、予め確認する。
- ② グラウンドの補修は、通常と同様に実施される。
- ③ ボールを消毒する。